



▲手作りおひな様の前でハイチーズ

### 桃の節句に手作りおひな様

生い立つ保育園 ひなまつり

2月28日、3月2日に生い立つ保育園で園児が作ったひな人形一般公開され、保護者や地域の人など約800人が来場しました。

今年のテーマは「自然物」。新築され広くなったホールに、竹や卵のからなどを使った個性豊かなかわいらしいひな人形が並びました。

28日には、園児たちからぜんざいとお茶が振る舞われ、ほっと一息つく来場者の姿が見られました。



▲壮行会にて、左から片男波親方、田中拓磨さん、森田市長

### 朝倉市から力士が誕生

田中拓磨さん 春場所初土俵

田中拓磨さん(甘木中学校卒)が、大相撲片男波部屋の片男波親方から誘いを受け、角界入りしました。

田中さんは本格的に相撲に打ち込んだ経験はありませんが、中学生1〜3年生の間、学校代表として大会に出場し活躍。

3月場所前の壮行会で「全部を一生懸命やりたい。国技としての人気を取り戻したい」と熱い思いを語っていた田中さんは、新弟子検査に合格し、3月場所で力士としての一歩を踏み出しました。

1790年2月14日、秋月藩医緒方春朝が行った種痘が、日本で初めての予防接種成功例となりました。このとき、天然痘の有効な予防法とはいえ死の危険性もある種痘にわが子を捧げたのが天野甚左衛門です。しかし、その功績はあまり知られていません。そこで、彼の功績を伝えるため顕彰碑の建立が計画されました。予防接種記念日に認定された2月14日に合わせ行われた除幕式では、多くの人が先人の偉業を讃えました。

### 2月14日は「予防接種記念日」

天野甚左衛門顕彰碑除幕式



▲上秋月運動広場で行われた顕彰碑除幕式の様子

### 百人一首ゆかりの地 あさくら

五色百人一首 第4回朝倉大会

1月31日、一原堂で五色百人一首 第4回朝倉大会が開催され、市内外から67人の児童が集いました。

朝倉市は小倉百人一首の筆頭歌が詠まれた地と伝えられており、小中学校で五色百人一首が授業で行われています。五色百人一首は小倉百人一首を5色(赤、緑、黄、橙、青)、20枚ずつに分け色別に試合を行います。

今回の大会では、児童たちが日ごろの練習の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。



▲赤札決勝戦。詠み手の声に素早く反応する児童

### 今年の作柄は？

朝倉・恵蘇八幡宮 かゆだめし

3月4日、恵蘇八幡宮でかゆに生えたかびの色や深さで今年の農産物の出来を占う「かゆだめし」が行われました。

2月15日に3つの青銅器にかゆを盛り神前に供え、3月最初の卯の日に占う伝統行事。

今年は虫害を表す黒いかびが一部に見られ、上原宮司は「米・麦共に平年以上の豊作が見込めるが、虫に注意が必要」とおっしゃいました。



▲かびの具合を確認する上原宮司と氏子

### 被災経験を絶やさないために

杷木地区避難訓練

2月22日、杷木地区で風水害を想定した避難訓練が行われました。これは福岡県の「特色ある自主防災組織育成強化事業」で、杷木コミュニティ協議会自主防災会がモデルとなり、自主防災活動に取り組んだものです。

当日は平成24年に被災経験のある下池田区等5行政区で住民や消防団員等約530人が参加。杷木コミュニティ協議会自主防災会の中山会長は「平常時に災害に立ち向かうことが大事」と語りました。



▲隣組長を中心とし、らくゆう館へ避難する参加者